

(2) 浄水施設

イ 御屋敷山浄水場

位 置	下松市大字西豊井字御屋敷山35番地
落 差 工	RC造り 幅6.00m 高1.00m 5段
着 水 井	RC造り 幅6.00m 長5.00m 深3.65m
凝 集 池	RC造り 幅4.50m 長4.50m 有効深4.20m 1池 滞留時間 2.04分
フロック形成池	RC造り 幅12.65m 長4.50m 有効深2.50m 2池 RC造り 幅13.80m 長5.00m 有効深3.00m 2池
沈 澱 池	傾斜板式横流沈澱池 RC造り 第1ブロック 変則5段 ピッチ150mm 有効面積729m ² 第2ブロック 3段 ピッチ東側100mm 西側150mm 第3ブロック 3段 ピッチ東側100mm 西側75mm 第2、3ブロック有効面積2,836m ² 処理能力 60,000m ³ /日 幅13.80m 長34.00m 有効深3.00m 容量1,400m ³ 2池
急 速 ろ 過 池	RC造り 処理能力 60,000m ³ /日 予備1池 7,500m ³ /日 幅5.50m 長7.60m 面積41.80m ² ろ過速度120m/日 6池 復層 幅6.65m 長9.40m 面積62.51m ² ろ過速度120m/日 2池 復層 幅7.80m 長6.40m 面積49.92m ² ろ過速度150m/日 3池 復層
脱臭処理設備 揚 水 井 活 性 炭 ろ 過 池	幅12.50m 長7.00m 有効深3.00m 容量250m ³ 水中ポンプ 37kW Q=9.26m ³ /分 3台 RC造り 脱臭目的 カビ臭除去 処理能力 40,000m ³ /日 幅3.61m 長7.22m 面積26.06m ² ×4池 粒状活性炭 炭厚2.00m 炭量25t×4池=100t 表洗ポンプ 30kW Q=2.60m ³ /分 1台
配 水 池	RC造り 容量 3,500m ³ ×2池=7,000m ³ 幅25.00m 長30.00m 有効深5.00m HWL47.95m LWL42.95m
第 2 配 水 池	PC構造 容量 7,000m ³ 内径31.60m 全水深9.20m 有効水深9.00m HWL78.00m LWL69.00m 送水ポンプ 11kW Q= 1.2m ³ /分 2台

滅菌設備	薬剂 次亜塩素酸ナトリウム インバータ方式一軸ネジポンプ 前次亜 19～1,160mL/分 2台 後次亜 9～ 550mL/分 3台
薬注設備	薬剂 ポリ塩化アルミニウム ミルフロー制御容量ポンプ 1.20L/分 1台 ミルフロー制御容量ポンプ 1.28L/分 1台
排水処理設備 排水池	PC構造 径18.00m 有効深8.40m 容量2,000m ³ 返送ポンプ(水中ポンプ) 18.5kW Q=1.75m ³ /分 3台 排泥ポンプ(水中ポンプ) 7.5kW Q=0.63m ³ /分 1台
排泥池	幅3.30m 長4.40m 深5.65m 排泥ポンプ 22kW Q=1.5m ³ /分 2台
天日乾燥床	1号床420m ² 有効深1.00m、No. 2号床416m ² 有効深1.00m 3～7号床450m ² 有効深1.20m 8号床525m ² 有効深1.00m 9号床472m ² 有効深1.00m

(注) HWLは最高水位 LWLは最低水位 PCはプレストレストコンクリートの略

ロ 御屋敷山浄水場沿革

竣工	内容
昭和32年1月	敷地造成 配水池 2池 7,000m ³ 急速ろ過池1～4号池 20,000m ³ /日 沈澱池 1池 15,000m ³ /日
昭和36年6月	急速ろ過池 5・6号池 10,000m ³ /日 沈澱池 1池 15,000m ³ /日
昭和38年8月	急速ろ過池 7・8号池 15,000m ³ /日
昭和47年5月	沈澱池改良 2池 傾斜板式 薬品注入装置 落差工 非常用発電機
昭和48年5月	急速ろ過池 9号池 7,500m ³ /日 洗浄ポンプ 2台
昭和51年6月	排水池 2,000m ³ 天日乾燥床 1・2号床
昭和51年11月	急速ろ過池 10号池 7,500m ³ /日

竣工	内容
昭和52年2月	急速ろ過池 1～8号池 計装設備
昭和53年11月	急速ろ過池 11号池 7,500m ³ /日
昭和56年8月	活性炭ろ過池 3・4号池 20,000m ³ /日 揚水井 管理棟増設
昭和58年3月	活性炭ろ過池 1・2号池 20,000m ³ /日
昭和58年11月	天日乾燥床 3～7号床 送泥ポンプ 2台
平成6年3月	天日乾燥床 8・9号床
平成14年12月	滅菌設備改良 次亜塩素酸ナトリウム使用
平成19年3月	第2配水池 7,000m ³ 第2配水池送水ポンプ 2台
平成20年10月	中央監視設備